



くすのき



令和3年(2021年)5月27日

No.6

「志津小 熱中症事故の防止に向けた対策」について

例年より早い梅雨入りになり、連日、雨が続けています。しかしながら、湿度が高い日でも、熱中症の症状が出ることもありますので、注意を払っていかねばなりません。また、これから6月に入りますと、急激に気温が上昇し、今年度も猛暑が予想されています。子どもたちは、マスクを着用しておりますことから、暑さ対策等を慎重に実施していかねばならないと考えています。



本校では、熱中症による事故防止に向け、次のように対応いたします。

さらに、新型コロナウイルス感染症への対応についても、引き続き十分な警戒を行い、手洗いや咳エチケットなどの基本的な防止対策を徹底するとともに、今後も教育活動に必要な体制を整えてまいります。保護者・地域の皆様方には、お手数をおかけいたしますが、御理解・御協力をいただきますようお願いいたします。

1. 学校への持ち物について

(1) 必ず学校に持ってくるもの



①水筒

●お子様と相談していただいて、十分な量のお茶・水・スポーツドリンク等を用意してください。量の調整が難しい場合は、午後用と合わせて2本持たせていただいてもかまいません。

●やむを得ず、持参した水分の量が不足した場合、ペットボトルのお茶(500ml)1本をお子様にお渡しします。翌日以降に、学校へ同等品を御返却ください。

②汗拭きタオル

③黄帽、体育の際の体操帽



(2) 登下校の際に、使ってもよいもの



①日傘

②濡らして首に巻くような保冷ベルト

③濡らしたタオル

④保冷剤

●いずれも壊れたり、なくなったりしても困らないものとします。個人の責任として必ず記名をしてください。学校では管理しません。

(3) 学校には持ってこないもの



①うちわ

②扇子




③携帯用扇風機

④冷却スプレー 等



★校外で長時間活動する際には、その都度担任から「熱中症予防のための準備」として別途連絡させていただきます。ご了承ください。

2. 学校生活における熱中症対策

施設や準備物について

場所	対策の内容
(1) 教室・ 特別教室	①コロナ感染防止対策のため冷房中においても換気を行います。基本的には冷房をつけます。 ②教室内部の空気を循環させるため、扇風機を活用します。普通教室にも、特別教室にも扇風機を設置します。 
(2) 体育館	①スポットクーラーを設置します。
(3) 運動場 	①テント等を設置し、日陰をつくります。 ②トイレ付近の樹木を利用して、簡易ミストシャワーをつけ、気化熱を利用して体温上昇を防ぎます。
(4) 職員室 	①「熱中症対策グッズ」を準備し、体育や校外での活動時には活動場所に持ち出して、いつでも対応できるようにしておきます。 【熱中症対策グッズ(クーラーボックス)の中に準備しているもの】 ・冷却剤(水・保冷剤等) ・経口補水液 ・食塩 ・体温計 ・紙コップ ・うちわ ・タオル ・霧吹き ・氷 等

子どもたちへの指導について

対応者	対策の内容
(1) 学級担任 (授業者) 	①子どもの健康状態を把握するように努めます。 ②子どもたちには、体調が悪くなったら自分ですぐに教員や周りの友だちに言うように指導します。熱中症のサインについても、子どもたちに指導をします。 ③熱中症情報の測定値等を参考にしますが、その値だけを過信せず、子どもの様子や体感温湿度により適切な対応を行います。 ④授業前後の水分補給を行い、学習や活動の途中でも、随時日陰での休憩・給水を取り入れながら、無理のない運動や学習を心がけます。 ●体育科等の学習では、15分ごとに1回程度、「給水・休憩タイム」を取ります。 ⑤場合によっては、屋外での運動を見合わせるなどの対応をとります。
(2) 校長・教頭・ 教務・ 養護教諭 	①毎日、志津小学校の校庭や体育館の暑さ指数(WBGT)を計測します。 ②毎日、暑さ指数について環境省が提供している「環境省熱中症予防情報サイト」より情報を確認し、実測値、予想値については、全教職員に知らせます。 ③熱中症情報について、子どもに校内掲示板で知らせたり、校内放送で注意を呼びかけたりします。 ④環境省や日本スポーツ協会が示す「熱中症予防のための運動指針」に則って対応するように各担任等に連絡します。(裏面参照)

★対応によっては、体育やクラブ活動等の校外での授業内容を変更したり、時には授業を中止したりすることがあります。

子どもたちの安全を第一に考えた対応いたしますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



3. 暑さ指数 (WBGT) と本校の対応

暑さ指数 (WBGT) とは
熱中症予防のための指標です!



人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。単位は気温と同じ摂氏度(℃)で示されます。労働や運動時の熱中症予防に用いられています。

暑さ指数 (WBGT数値) 乾球温度(目安)	日常生活における熱中症予防指針(日本生気象学会)	熱中症予防のための運動指針((公財)日本スポーツ協会)	学校生活を安全に過ごすために
WBGT 31℃以上 乾球温度(目安) 35℃以上 危険(運動は原則中止)	外出はなるべく避け、涼しい室内へ移動する。	特別な場合以外は運動を中止する。特に子どもの場には中止すべき。	体育などの運動は中止。屋外や体育館での活動は、中止又は活動時間の短縮。
WBGT 28~31℃ 乾球温度(目安) 31℃~35℃ 嚴重警戒(激しい運動は中止)	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。運動する場合には、頻繁に休息をとり水分・塩分の補給を行う。体力の低い人、暑さに慣れていない人は運動中止。	激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は原則中止。なお、健康チェックや水分・塩分補給など健康管理を徹底し、練習内容、場所、時間、服装などに配慮した上で活動することが可能。体力等個人の条件、体調を考慮し、運動を軽減、中止する。
WBGT 25~28℃ 乾球温度(目安) 28℃~31℃ 警戒(積極的に休息)	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。	熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休息をとる。	積極的に休息をとる。激しい運動の場合は、30分おきに1回以上の休息をとるとともに、水分・塩分を補給する。
WBGT 21~25℃ 乾球温度(目安) 24℃~28℃ 注意(積極的に水分補給)	激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。	運動の合間に積極的に水分・塩分補給を行う。 
WBGT 21℃未満 乾球温度(目安) 24℃未満 ほぼ安全(適宜水分補給)	...	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。	適宜水分・塩分補給を行う。

4. 熱中症の応急処置（フロー図）

草津市立志津小学校 電話 077-562-0341 FAX 077-562-6167

熱中症の応急処置

<1> 熱中症を疑う症状がある

- めまい、失神、筋肉痛、四肢や腹筋のけいれん
- 大量の発汗、頭痛、吐気、嘔吐、倦怠感・脱力感、頻脈、顔面蒼白
- 手足の運動障害（足のもつれ・ふらつき、転倒、突然の座り込み、立ち上がれない）
- 高体温

<2> 意識はあるか？ 呼びかけに答えるか？

「ここはどこ？」 「名前は何？」 「今、何している？」

- 応答が鈍い
- 言動がおかしい
- 意識がない

1つでも☑がある

救急車要請

救急車が来るまで

【涼しい場所への避難】 【脱衣と冷却】

- 冷房の効いた室内、風通しのよい日かげに運ぶ。
- 衣服を緩めて、寝かせる。
- 一人にしない
- 救急車到着までの間、積極的に体を冷やす。
- できるだけ迅速に、体温を下げる。
- ホースで流水をかけたり、濡れたタオルを当てて、扇風機などで強風に扇ぐ。
- 氷、アイスパック、保冷剤などで、首のつけ根、わきの下、脚のつけ根など太い血管を冷やす。

【涼しい場所への避難】

- 冷房の効いた室内、風通しのよい日かげに運ぶ。
- 衣服を緩めて、寝かせる。
- 一人にしない。
- 保護者へ連絡する。

<3> 自分で水分摂取できるか？

≪摂取できる≫

- スポーツドリンクを飲ませる。
(水分・塩分を同時摂取可能)
- 0.1～0.2%の食塩水を飲ませる。
(塩分濃度が高い味噌汁やスープにすると飲みやすい)

≪摂取できない≫

救急車要請

救急車が来るまで【脱衣と冷却】

- 救急車到着までの間、積極的に体を冷やす。
- できるだけ迅速に、体温を下げる。
(体温の冷却はできるだけ早く行う必要がある。)
- ホースで流水をかけたり、濡れたタオルを当てて、扇風機などで強風に扇ぐ。
- 氷、アイスパック、保冷剤などで、首のつけ根、わきの下、脚のつけ根など太い血管を冷やす。

<4> 症状が良くなったか？

≪症状が改善している≫

- 安静にして、十分に休憩させる。
(経過観察)
- こまめに体温を測定する。

≪症状が改善しない≫

救急車要請

救急搬送 (教職員同行)

- 草津市教育委員会スポーツ保健課へ一報
- 事故報告書の作成・提出

【注意点】

- 安易に大丈夫と判断しない
- 既往症等を確認する
- 管理職・養護教諭等に速やかに報告
- 保護者への連絡